

【部活動】での活用事例

(中学校全学年)

【活用した資料】

- 中学校版「心みつめて」p.4 第一章「志を立てて…」吉田 松陰
p.122～p.123 第三章「目標に向かう強い心を大切にしたい」

【学習指導要領に示されている道徳の内容】

- 1-(2)「より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。」

○ ミーティングの場で、部活動に取り組む意欲を高めるきっかけとして…

部活動のミーティングの際に、「心みつめて」第一章（p.4）の吉田松陰の「志を立てて…」の言葉を紹介しました。「志を立てて以て万事の源とする」とは、どのような意味なのかを考えさせることを通して、志、すなわち目標をもつことの大切さについて理解させました。その際、「心みつめて」第三章（p.122～p.123）の「目標に向かう強い心を大切にしたい」を読ませ、今の自分の目標やその達成のために何をするかについて記入させることによって、部活動に取り組んでいく上での具体的な目標を、部員一人ひとりが明確にすることができました。

○ 生徒の感想（後日、部員が書いた部活動ノートより）

「先日のミーティングで、人がやる気になるためには、目標をしっかりと持つことが大切だということがよく分かりました。しかし、その目標があまりにも高いと、どうせ無理だとはじめからあきらめてしまったり、途中で投げ出したりしてしまうことも考えられます。まずは今まで以上に練習に全力で取り組むようにし、小さな目標の達成を一つずつ積み重ねていくことを大切にしようと思います。」